

特集

菊川市の未来を担う熱意！ 「菊川市こども議会」開催

8月18日、菊川市議事堂にて令和7年菊川市こども議会が開催されました。市内の小・中学校の児童・生徒がこども議員として参加し、夏休み中の学びを活かして、菊川市の未来に向けた熱い意見や提言を堂々と発表しました。

〈本格的な学びと調査の5日間〉

こども議会は、単なる発表会ではありません。こども議員たちは、夏休み期間中の5日間を使い、議会の仕組みを学びながら調査に邁進し、日常の疑問や未来への希望を提言へとまとめ上げました。

7月25日のオリエンテーションからスタートし、議員による議会についての基礎説明を受け、菊川市の課題解決に向けたテーマ決めから取り掛かりました。

2日目以降は、市役所の各部署を訪ねて質問を重ねたり、市役所外への視察調査を行ったりと、資料収集や課題調査に熱心に取り組みました。メモを取りながら真剣に話を聞き、

提言内容を練り上げていく姿は、まさに未来のリーダーそのものでした。自分たちのテーマを深めるために何度も足を運び、当日に備えて原稿の読み上げ練習も行いました。

〈議場で響いた新鮮な発想〉

本番8月18日は、保護者や傍聴者が見守るなか、こども議長が交代で議事を進行。グループごとに3人ずつ意見・提言を発表しました。提言の内容は、教育、環境、地域の課題など多岐にわたり、大人では思いつかないような新鮮な発想が光りました。本格的な議事の進行では、市長や教育長をはじめとする執行部へ提言が投げ掛けられ、これに対し市長からの講評や担当部長からの答弁・コメントが寄せられるなど、大人顔負けの真剣なやり取りが繰り広げられました。緊張しながらも最後まで堂々とやり遂げたこども議員たちでした。

〈議会の外で垣間見た本音と提言の意義〉

閉会後のアンケートでは「緊張したけど頑

張れてよかった」「もっと長い期間やってみたい」といった声が聞かれ、こども議員としてよく調べ、勉強した成果を発表する経験が、大きな達成感と自信につながったことが伺えます。また、休憩中のこども議員からは、「将来は菊川市議会議員になりたい」という夢や、身近な学校の課題に関する率直な声も漏れるなど、この活動がこどもたちの市政への関心を深めていることが分かりました。

そして特筆すべきは、今回のこども議会において「通知表をなくしてほしい」という提案が出されましたが、後日、近隣自治体で県内初の通知表の廃止をすることが明らかになったことです。これは、こども議会での提案が、いかに時代にタイムリーであるか、未来を担うこどもたちの純粋な意見にこそ真実があると実感させられる出来事でした。

今回のこども議会は、参加したこどもたちにとって貴重な学びの場であるとともに、菊川市の未来を担う人材を育む大切な取組です。市議会として、執行部とともにこども議会からの提言に真剣に向き合い、この経験がこどもたちのさらなる成長の糧となることを心より願っています。